

穂いもちが発生しやすい天候が続いています。葉いもちの発生圃場や、出穂期が遅れている圃場では、追加防除を実施しましょう。

現在の状況

- 1 7月中旬頃から、日照不足や低温が続き、降雨日も多い。
- 2 出穂直前～穂揃期の巡回調査（7月29日～8月6日、県北、沿岸地域を除く）では、穂いもちの重要な伝染源となる上位葉（止葉、次葉、第3葉）での発生圃場率は、平年よりやや高い（図1）。
- 3 地域別では、東磐井と遠野で平年より高い（図2）。
- 4 1か月予報（仙台管区気象台 令和2年8月6日発表）では、降水量は平年並または多く、天気は周期的に変わる見込みであり、今後もいもち病に対するイネの感受性が高く推移し、穂いもちの発生が懸念される。

防除対策

- 1 出穂期間が長引いたり、出穂が遅れている圃場や直播栽培では、穂いもち予防剤や茎葉散布による防除を行った場合でも、圃場をよく観察し、上位葉に葉いもちの発生が確認された圃場では、ただちに穂いもち対象の茎葉散布による防除を実施する。
- 2 茎葉散布による穂いもち防除は、出穂直前から穂揃期1週間後まで、7～10日間隔で実施する。

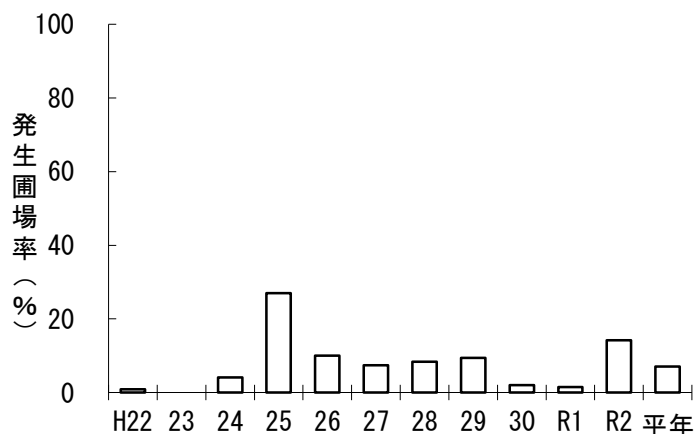


図1 上位3葉での葉いもち発生圃場率の年次推移
(8月6日現在、県北、沿岸地域を除く)

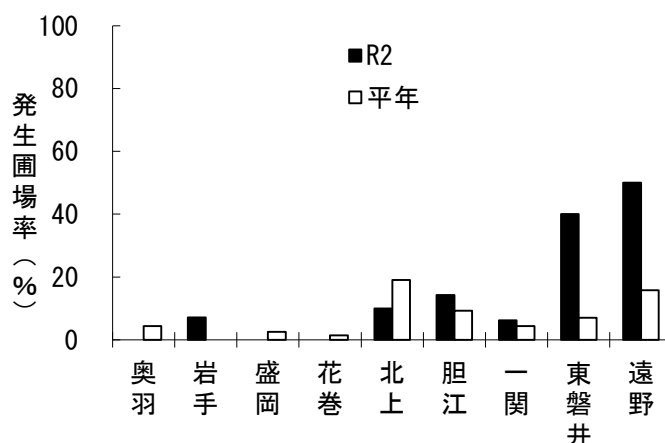


図2 上位3葉での葉いもち発生圃場率の地域別年次推移 (県北、沿岸地域を除く)

☆農薬危害防止運動実施中(6/1～8/31)☆

熱中症防止のため、こまめな水分補給と休憩を心がけましょう！

【利用上の注意】

- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・農薬使用の際には、(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆病害虫防除に関する情報は、いわてアグリベンチャーネット

<https://i-agri.net/Index/gate003> からご覧いただけます。